

令和4年度（2022年度）鎌倉市障害者二千人雇用事業実施結果について

0 鎌倉市の障害者の現状（令和5年(2023年)3月31日時点）

	1級 (A1)	2級 (A2)	3級 (B1)	4級 (B2)	5級	6級	合計
身体障害者	1,671人	644人	662人	1,034人	189人	283人	4,483人
知的障害者	239人	235人	271人	403人	-	-	1,148人
精神障害者	198人	1,192人	401人	-	-	-	1,791人

1 鎌倉市障害者二千人雇用就労者数（令和5年(2023年)3月31日時点）

(1) 就労数の定義

ア 鎌倉市内の事業所において就労している障害者

イ 鎌倉市外の事業所において就労している鎌倉市民の障害者

※就労の形態、雇用契約の有無は問わない。

(2) 令和4年度(2022年度)就労者数実績

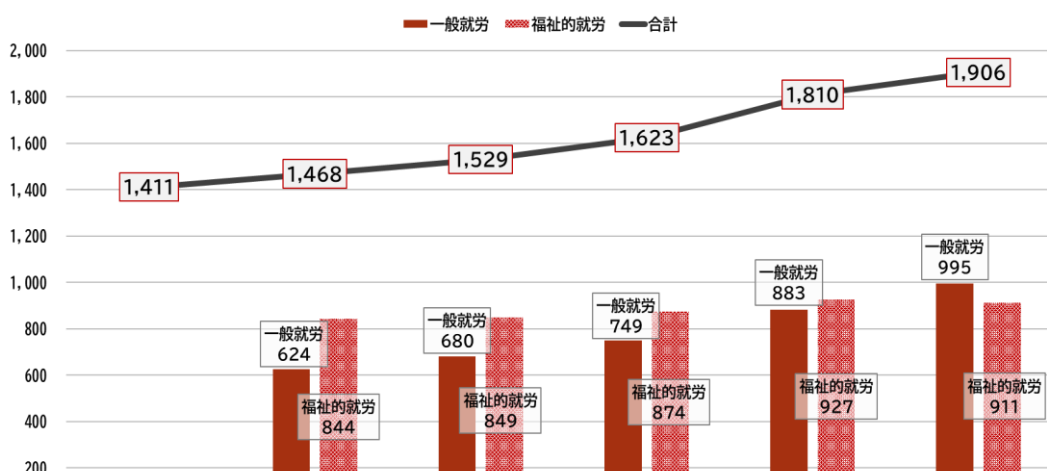
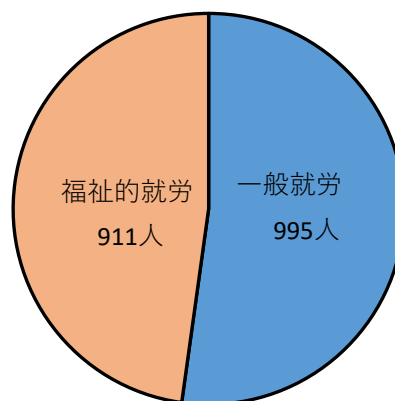
ア 一般就労者数 995人

イ 福祉的就労者数 911人

ウ 合 計 1,906人

(3) 令和4年度(2022年度)就労者数推移

	一般 就労者数	福祉 就労者数	合計
4月	905人	895人	1,800人
5月	912人	890人	1,802人
6月	913人	920人	1,833人
7月	923人	921人	1,844人
8月	927人	904人	1,831人
9月	935人	898人	1,833人
10月	950人	910人	1,860人
11月	966人	915人	1,881人
12月	976人	902人	1,878人
1月	983人	900人	1,883人
2月	987人	909人	1,896人
3月	995人	911人	1,906人





ア 一般就労者数内訳(令和5年(2023年)3月31日時点)

	市内就労者	市外就労者	合計
二千人雇用センター	73人	73人	146人
ナガノツ/養護学校	3人	16人	19人
就労継続支援A型	4人	15人	19人
就労継続支援B型	31人	11人	42人
就労移行支援	15人	26人	41人
雇用奨励金	13人	4人	17人
就労移行支援金	6人	29人	35人
市外福祉的就労	2人	10人	12人
BPO事業	0人	1人	1人
CW情報提供	0人	19人	19人
市・市教育委員会	34人		34人
アンケート	610人		610人
合 計			995人

イ 福祉的就労者数内訳(令和5年(2023年)3月31日時点)

	市民市内	市民市外	市民外利用者	合計
就労継続支援A型	24人	60人	14人	98人
就労継続支援B型	215人	157人	64人	436人
就労移行支援	14人	40人	46人	100人
生活介護・地活	277人			277人
合 計				911人

2 令和4年度(2022年度)鎌倉市障害者二千人雇用センターにおける支援実績

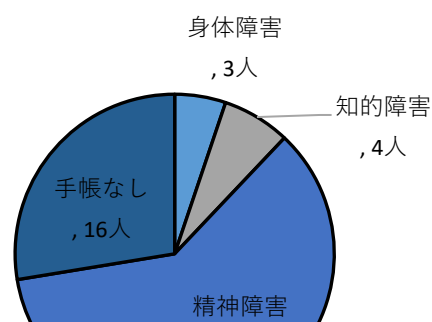
(1) 障害者相談件数

(令和5年(2023年)3月31日時点)

	合計
来所	798件
電話	1,341件
訪問・同行	438件
メール	135件
その他(web)	1件
合計	2,713件

(2) 登録者数(障害別)

	登録者	合計
手帳あり	身体障害 重 度	1人
	身体障害 軽 度	2人
	知的障害 重 度	4人
	知的障害 軽 度	0人
	精神障害 発 達	26人
	精神障害 不 発 達	9人
手帳なし	精 神 障 害	7人
	発 達 障 害	3人



手帳なし	難病	0人	16人
	自立支援医療	4人	
	その他※	2人	
合計			58人

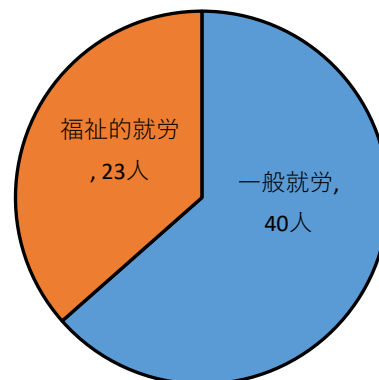
※手帳取得に該当しない身体的障害等



(3) 就労者数(障害別)

		一般就労	福祉的就労	合計
手帳あり	身体障害 重 度	2人	1人	3人
	知的障害 重 度	2人	2人	4人
	精神障害 重 度	8人	4人	12人
	精神障害 発 達	0人	0人	0人
手帳なし	精神障害 発 達	18人	11人	29人
	精神障害	7人	2人	9人
	発達障害	0人	1人	1人
	難病	1人	0人	1人
	自立支援医療	0人	0人	0人
	その他※	1人	2人	3人
合計		1人	0人	1人
合計		40人	23人	63人

※手帳取得に該当しない身体的障害等



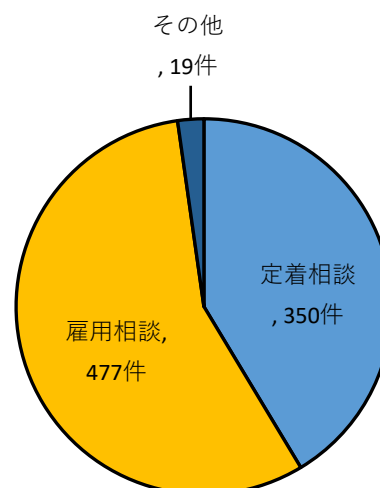
(4) 企業相談件数

	合計
来所	21件
電話	358件
訪問・同行	315件
メール	146件
その他(web)	6件
合計	846件

(5) 企業相談内容

		件数	合計
雇用	新規	331件	350件
	継続	15件	
	その他	4件	
定着	新規	7件	477件
	継続	466件	
	その他	4件	
その他※		19件	19件
合計		846件	846件

※情報交換、施設見学



3 ワークステーションかまくら

(1) 職員体制(令和5年(2023年)3月31日時点)

ア 再任用職員 1名

- イ 障害者就業支援員 3名(精神保健福祉士1名、社会福祉士2名)
 ウ 障害者スタッフ 8名(精神障害5名、知的障害3名)
 (2) 作業実績

	1	2	3	4	5	6
作業名	封入・封かん	押印	シール貼り	紙折り	仕分け	データ入力
件数	191件	134件	120件	101件	97件	63件
(%)	20%	14%	13%	11%	10%	7%

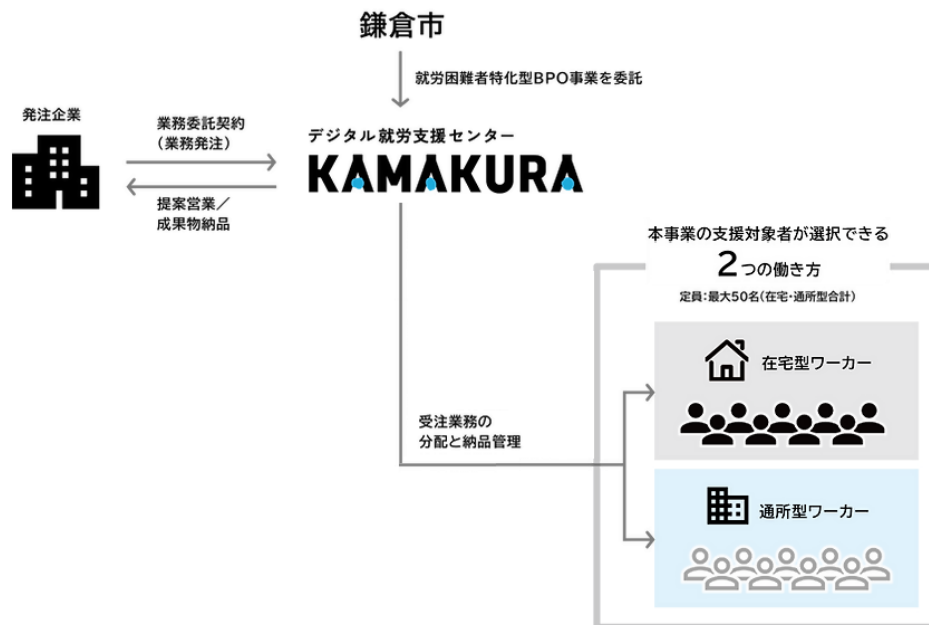
4 就労困難者特化型BPO事業

鎌倉市に在住する障害のある人やひきこもり状態にある人などのうち、様々な要因で就労に困難を抱える人に対し、BPOのノウハウを有する事業者への委託により、IT業務を中心に在宅型・通所型の2形態で就労の機会創出を図り、社会参加と共に自立に繋がる環境づくりに取り組むもの。

- (1) 令和4年度(2022年度)登録者数

種別	件数
在宅型	11人
通所型	10人
合計	21人

- (2) 一般就労者数
1名



5 農業就労体験セミナー

障害者やひきこもり、就労、家事、通学を行っていないニート状態にある者で、就労に困難を抱える者を対象とし、農業を通じた社会的居場所の提供や、農業分野での就労を目指すためのスキル習得を目的としたセミナー。

- (1) コース種別

農業体験コース: 農業を通じた社会参加を目的とする。

就労特化コース: 農業に関する基礎的知識を習得し、農家等での実習を行うことで、一般就労に必要なスキル向上を目的とする。

- (2) 令和4年度(2022年度)参加者数

コース種別	人数
農業体験コース	13人
就労特化コース	5人
合計	18人

(3) 令和4年度(2022年度)セミナー実施回数

コース種別	回数
農業体験コース	12回
就労特化コース	20回

6 障害者就職面接会(ハローワーク藤沢との共催)

ハローワーク藤沢と協力し、働く希望のある障害者と障害者雇用を進めている事業所が一堂に会し、より多くの就業機会・雇用機会を提供することを目的として実施。

(1) 藤沢・戸塚障害者合同面接会(令和4年(2022年)10月26日開催)

主催:ハローワーク藤沢、ハローワーク戸塚

共催:藤沢市、鎌倉市、茅ヶ崎市、寒川町、神奈川県

	合計
出席事業所数	28社
求人件数	44件
参加求職者数	68人
当日面接件数	187件

(2) 湘南地域障害者ミニ面接会(令和5年(2023年)2月17日開催)

主催:ハローワーク藤沢

共催:藤沢市、鎌倉市、茅ヶ崎市、寒川町

	合計
出席事業所数	8社
求人件数	11件
参加求職者数	23人
当日面接件数	26件

7 法定雇用率未達成事業所訪問

ハローワーク藤沢の協力のもと、ハローワーク雇用指導官、障害福祉課障害者雇用対策担当、障害者二千人雇用センターの3者で市内の法定雇用率未達成企業を中心に訪問を行う。

(1) 令和4年度(2022年度)実績

4社

8 障害者雇用啓発講演会

企業が障害者雇用について知識を深め、雇用にふみ切るきっかけの場となることを目的として実施。

(1) テーマ 「障害者へのステップアップ ～採用検討から職場定着まで～」

(2) 開催日 令和5年(2023年)1月24日(火) 14:00～16:30

(3) 内容

- ア 講師 眞保 智子 氏(法政大学現代福祉学部教授)
岡濱 君江 氏(埼玉県障害者雇用総合サポートセンター相談役)
- イ 講演内容 障害者雇用の実例を交えた講演
- ウ 参加人数 18人

9 障害者就労移行支援金

障害のある人が自立に向けた生活を営むことを支援するとともに、生きがいを感じながら、安心して暮らすことのできる地域社会を目指すため、100,000円を1回限り給付するもの。

(1) 対象者

市内在住で障害があり、就労移行支援または就労継続支援を3か月以上利用した後、3か月以内に一般就労を始め、同一の事業所で一般就労期間が6か月以上経過した障害のある人

(2) 給付実績

障害種別	件数
身体障害	0人
知的障害	2人
精神障害	13人
合計	15人

10 障害者雇用奨励金

市内在住の知的障害者または精神障害者を雇用する中小企業や就労継続支援A型事業所に奨励金を支給するもの。

(1) 対象者

1日4時間以上、1か月16日以上勤務をしている知的または精神障害者

(2) 支給額

一般企業 20,000円

A型 7,500円

(3) 令和4年度(2022年度)支給実績

5,937,500円

(4) 支給件数

種別	件数
一般企業	12件
A型	8件
合計	20件

11 障害者就労支援事業所開設補助金

市内に就労支援事業所を開設する法人に対し、開設する際にかかった費用を最大100万円補助するもの。

(1) 支給対象事業

就労移行支援事業または就労継続支援事業

(2) 対象経費

工事費・工事請負費、工事事務費、事務用品費(机、椅子、パソコン、電話、消火器等)

(3) 令和4年度(2022年度)支給実績

0件

12 第一次産業連携促進補助金(令和4年度で終了)

第一次産業と福祉分野の連携を促進するため、第一次産業のうち、農業及び水産業に取り組む市内の福祉事業所に対し、農具等の購入費の一部を補助するもの。

(1) 令和4年度(2022年度)支給件数

1件

(2) 令和4年度(2022年度)支給金額

217,000円

13 鎌倉市と総社市、延岡市との障害者雇用の推進に関する包括連携協定の締結

本市と岡山県総社市、宮崎県延岡市は、障害者雇用の推進に向けて、緊密な相互連携のもと、双方が所有する障害者雇用に関する情報や実施している施策等を共有、活用し、共生社会における社会的課題の解決に取り組むことで、地域のニーズに迅速かつ適切に対応し、市民サービスの向上及び地域の活性化を図ることを目的として協定を締結。

(1) 協定締結日：

令和4年(2022年)7月11日

(2) 主な取組

- ・障害者雇用の情報発信や施策PR等啓発に関すること
- ・地域の特性を活かした事業所運営、商品開発に関すること
- ・情報共有と人材交流に関すること

(3) 取組実績

- ・「障がい者雇用倍増」スタート記念シンポジウム(延岡市主催)

令和5年5月24日(水) 15時～17時

○シンポジスト 鎌倉市長、総社市長、延岡市長

○コメンテーター 厚生労働省職業安定局 障害者雇用対策課長

○テーマ 各市の障害者雇用の取組み等について

14 鎌倉市と株式会社オリィ研究所との遠隔操作ロボットの活用に関する協定の締結

株式会社オリィ研究所と障害者の特性や症状によって、就労に困難を抱える者の在宅就労の可能性を見出すため、遠隔操作ロボット(OriHime)を活用した実証実験の実施について、協定を締結した。

(1) 実施期間

令和4年5月9日(月)から令和4年12月27日(火)まで

(2) 実施場所

鎌倉殿の13人大河ドラマ館 物販スペース

(3) 業務内容

物販スペースでの商品紹介業務

(4) 稼働時間 ※土日祝日を除く

14:30～16:30 (令和4年5月～9月)

13:30～16:30 (令和4年10月～12月)

(5) パイロット

7名(うち鎌倉市民1名)

(6) 接客人数

約6,666人 ※OriHimeから目視した人数

(7) 実証実験結果

OriHimeを活用した取り組み自体は肯定的な意見が多く、期待の高さがうかがえた一方、機材等のトラブル対応やターゲットが不明確な場で接客業務に従事する場合に発生する精神的なストレスへの心理面でのフォロー、遠隔操作ロボットを活用した業務の切り出し・調整といった業務面でのフォロー等の周囲のサポートが必要であるといった課題もあった。

今後、ロボットテクノロジー市場やAI市場が醸成し、ロボットやAIの精度向上、企業や他自治体とのロボットやAIを活用した連携が進めば、外出の可否を問わない働き方の構築及び企業等による障害者雇用の促進が見込めると考えられるため、引き続き民間や先進自治体の動向を注視し、研究を継続していく。



